

平成 29 年度

2017 年度

後期

群馬大学

Gunma University

留学生便覧

Handbook for international student

国際センター

International Center

2017 年 10 月 I 版



氏名

もくじ  
CONTENTS

留学生のみなさんへ

TO ALL THE INTERNATIONAL STUDENTS AT GUNMA UNIVERSITY

- ・ 国際センターについて … 1  
ORGANIZATION OF THE GUNMA UNIVERSITY INTERNATIONAL CENTER
- ・ 日本語教育の内容  
CONTENT OF JAPANESE LANGUAGE EDUCATION
- ・ 留学生相談  
ADVISORY SERVICE FOR INTERNATIONAL STUDENTS
- ・ 多文化交流  
MULTICULTURAL EXCHANGE
- ・ 国際課および各学部の留学生担当事務室について  
INTERNATIONAL OFFICE AND FACULTY OFFICES

日本語教育のプログラム

PROGRAMS OF JAPANESE LANGUAGE EDUCATION

- 一般学部留学生のための外国語科目としての日本語・日本事情 … 5  
教養教育「日本語・日本事情」科目
- 交換留学生・国費留学生のための日本語クラス … 11  
中級日本語集中コース（入門日本語）
- Jプログラム（日本語・日本文化研修留学生プログラム） … 13
- 教養教育「伝統文化実践科目」 … 16
- 留学生のための補講科目としての日本語補講コース … 21  
SUPPLEMENTARY JAPANESE COURSE FOR INTERNATIONAL STUDENTS

チューター TUTORIAL SYSTEM … 24

同上（日本語版） … 26

留学生相談 ADVISORY SERVICE FOR INTERNATIONAL STUDENTS … 28

同上（日本語版） … 30

荒牧地区教室配当表 ARAMAKI CAMPUS CLASS TABLE … 32

各地区配置図 CAMPUS MAP … 33

学年暦 ACADEMIC CALENDER … 39

## 留学生のみなさんへ

群馬大学には留学生のみなさんの学習や研究活動などのサポートを行うために国際センターが設置されています。国際センターを利用して、大学生活を有意義なものにしてください。

### 【国際センター】

国際センターは、以下の教員によって構成される教育・研究組織です。研究のほか、留学生のための日本語・日本事情科目の開講、学習相談や一般学生のための授業を担当しています。

また、国際課や学務部と協力して生活相談を行っています。

2017年度の教員は次のとおりです。

#### ★センター長・副センター長・専任教員

センター長(兼) 社会情報学部 教授 朮松 美知子

(内 7505) michikosue@gunma-u.ac.jp

副センター長 准教授 野田 岳人

(内 7501) nodat@gunma-u.ac.jp

准教授 牧原 功 (内 7504) makihara@gunma-u.ac.jp

専任講師 Sylvain Bergeron (内 7507) bergeron@gunma-u.ac.jp

専任講師 園田 智子 (内 7503) sonoda@gunma-u.ac.jp

専任講師 船橋 瑞貴 (内 1097) funahashi@gunma-u.ac.jp

専任講師 渡邊 知釈 (内 1607) t.watanabe@gunma-u.ac.jp

専任講師 大和 啓子 育児休暇中

★授業などを行う場所

荒牧キャンパス：教育学部、社会情報学部、国際センター

昭和キャンパス：医学部、生体調節研究所

桐生キャンパス：理工学部、国際センター桐生分室

各キャンパスのマップは、P 33以降に掲載しています。

★事務的なことから、以下の事務組織で行います。

荒牧キャンパス 国際課 (027-220-7628, 7627, 7637)

教育学部教務係 (027-220-7256)

社会情報学部教務係 (027-220-7422)

昭和キャンパス 医学部学務課学事・学生支援係 (027-220-7796)

生体調節研究所庶務係 (027-220-8823)

桐生キャンパス 理工学部学生支援係 (1号館) (0277-30-1024)

\*国際センターのホームページにも情報が載っています。

[http:// guic.gunma-u.ac.jp/](http://guic.gunma-u.ac.jp/)

## 【日本語教育の内容】

群馬大学では、留学生を対象に以下の日本語コースを開講しています。

- 一般学部留学生のための外国語科目としての日本語・日本事情 [荒牧地区]
- 中級日本語集中コース(入門日本語) [荒牧地区]
- Jプログラム(日本語・日本文化研修留学生プログラム) [荒牧地区]
- 大学院留学生のための補講科目としての日本語コース [昭和地区、桐生地区]
- その他、プロジェクト等による日本語コース

それぞれのコースで授業を受けるためには、定められた資格と登録が必要です。詳しくは、この後の各コースの案内を見てください。

### 注意

なお、これらの日本語コースの授業の中で、群馬大学の単位として認定されるのは、「学部留学生のための外国語科目としての日本語コース」と「中級日本語集中コース(入門日本語)」、「Jプログラム(日本語・日本文化研修留学生プログラム)」に限られます。

補講科目としての日本語コースの授業は、単位の代わりに、「履修証明書」(どのような内容の授業を何時間受けたか)を発行します。

## 【留学生相談】

留学生の皆さんが、群馬大学での研究活動を有意義なものとするためには、心身を健康な状態に保つことが必要です。しかし、外国で生活することはそれだけで大きなストレスでもあり、様々な問題や悩み事が生じることと思います。

国際センターでは、このような問題について相談を行っています。相談の受け方などについては、相談指導のページを参照してください。

## 【多文化交流】

日本人学生にとって、皆さんは未知の文化を教える良き教師でもあります。また、皆さんも様々な国から来ている他の留学生や日本人から、それぞれの文化を学ぶ機会があると思います。

多文化交流の場として、異文化理解の機会を提供するのも国際センターの重要な業務です。

## 【国際課および各キャンパスの留学生担当事務室について】

大学には国際課のほか、各キャンパスにも留学生の皆さんのためにサービスを提供する事務室があります。在留資格・出入国に関すること、奨学金の申請、資格外活動の手続き、宿舍の相談、交流行事など、皆さんをサポートする仕事をしています。

いっばんがくぶりゅうがくせい がいこくごかもく にほんご にほんじじょう  
**○一般学部留学生のための外国語科目としての日本語・日本事情**

きょうようきょういく にほんご にほんじじょう かもく  
**教養教育「日本語・日本事情」科目**

これらの科目は学部留学生が大学の授業に参加するのに十分な日本語の能力を身につけることを目的として開設されています。

学部留学生はこれらの科目を履修することで、教養教育の外国語、総合科目、あるいは基礎科目の単位として認められます。詳細は『履修の手引き』を参照してください。

大学院生や研究生もこれらの科目の授業を受けることができますが、受講希望者は事前にコーディネーターに受講の相談をし、プレイスメント・テストを受けてください。

コース・コーディネーターは牧原功准教授です。

**《2017年度 後期 時間割》**

時限/曜日	月	火	水	木	金
1-2 8:40-10:10					
3-4 10:20-11:50		LB2641 日本語A2 (口頭表現) 吉田 好美	LB2639 日本語G2 (レポート作成) 野田 岳人		LB2638 日本語G1 (読解) 野田 岳人
5-6 12:40-14:10	LB2640 日本語E (読解) 瀬間 亮子	LB2637 日本語H (作文) 松橋 瑞貴	LB2654 日本事情B 野田 岳人		
7-8 14:20-15:50		LB2274 国際理解基礎 講座 園田 智子			

[日本語・日本事情科目]

科目区分：日本語・日本事情

[日本語・日本事情科目]

群馬大学の「日本語・日本事情プログラム」は、群馬大学で学ぶ留学生が大学や地域社会に適応し、充実した日常生活を送りながら大学での勉学・研究に積極的に参加できるようになることを目標とした、日本語の運用力を総合的に高めていくためのクラスです。2017年度（前期：2017年4月～9月、後期：2017年10月～2018年3月）に開講される授業は以下の通りです。

注意1) 「日本語・日本事情」の履修方法について

4月と10月の授業開始時期に履修のためのガイダンス及びプレイズメント・テストを行います。必ず出席してください。

日時と場所は大学会館2階、国際センター・国際課の留学生用掲示板に掲示します。

注意2) 「日本語・日本事情」の振り替え方法について

学部留学生は、履修した「日本語・日本事情科目」の単位を外国語科目や教養教育科目の単位の一部に振り替えることが可能です。『教養教育履修手引』に記載されている「外国人留学生の履修特例と日本語・日本事情科目」を参照してください。

授業科目	授業題目	学期	曜日・時限	担当教員	単位数	選必修	授業クラス	授業目標・内容など
日本語	日本語A1 (口頭表現)	前	水5-6	渡邊 知積	1		留学生	詩や小説などのナレーション、フォーマルなスピーチなどを題材として、シャドーイングや音読などインプットとアウトプットの基礎的な練習と、ディスカッション、そして簡単な通訳練習を行います。伝わりやすい発音を訓練しながら幅広い表現を身につけ、大学や社会で必要な日本語の口頭表現技能を高めることを目的とします。文学作品やマンガ、アニメなどの好きな題材を使った音読発表課題や、録音の宿題があります。日本語能力試験N3からN1レベルの学生が対象です。
	日本語A2 (口頭表現)	後	火3-4	吉田 好美	1			目標：日本語でのプレゼンテーションや意見交換を適切に行えるようにする。 概要：プレゼンテーションや意見交換に必要な表現や語彙、そして発表の構成を学び、実際に使用できるように練習を行う。プレゼンテーションは、指定された、あるいは興味のあるテーマについてまとめた後に実施する。 オフィス・アワー： 国際センター 非常勤講師室（大学会館3階） 火曜日 16:00～17:00
	日本語B (総合)	前	木3-4	園田 智子	1			留学生が、日本の大学で学ぶ際の基本的なスキル（講義を聴く・発表する・情報を収集するなど）を学びながら日本語力の4技能における向上を目指す講義である。特に読解力、情報収集力、上級聴解力とその基盤となる考える力の要請を主眼としている。受講生は、毎時間の決められたテーマに沿ったワークに取り組み、課題を完成させる。テーマには、「図書館で情報収集をする」「日本語のEメールの書き方を学ぶ」などがあり、それぞれ実際のスキルを体験することで学んでいく。 オフィス・アワー： 園田研究室（大学会館3階）木曜日 12:40～14:00
	日本語D (総合)	前	水7-8	松橋 瑞貴	1			中級レベルの学習者を対象に、JLPTのN2レベルの文章を用いて、日本語能力の向上を目指すクラスです。読解ストラテジーの練習だけではなく、中級文型の理解や運用も重視して、総合的な活動を行います。教材はJLPTのN2レベルの過去の出題例を用いる予定です。 オフィス・アワー： 松橋研究室（大学会館3階）水曜日 12:00～13:00



[日本語・日本事情科目]

科目区分：日本語・日本事情

授業科目	授業題目	学期	曜日・時限	担当教員	単位数	選別	授業クラス	授業目標・内容など
日本語	日本語E (読解)	後	水5-6	大和 啓子 未定	1		留学生	様々な分野のテキストを用い、目的に合った文章読解の技術を学びます。また、要約の課題を通じて、文章を整理してまとめる練習をします。 オフィス・アワー： 大和研究室（大学会館3階）水曜日 14:20~15:20
	日本語F1 (読解)	前	金3-4	野田 岳人	1			基礎的な専門書や論文などの内容を理解するために、基本的な用語、文法的な表現などを中心に学習します。また、これらの語彙や表現を用いて、口頭表現や発表練習も行います。 オフィス・アワー： 野田研究室（大学会館3階）火曜日 17:00~18:00
	日本語F2 (論文作成)	前	金5-6	野田 岳人	1			基礎的な専門書や論文などの内容を理解するために、基本的な用語、文法的な表現などを中心に学習します。また、これらの語彙や表現を用いて、口頭表現や発表練習も行います。そして、論文や報告書などの文章を読んで正確に理解し、自分自身でも適切に作成できるようになるのが目標です。 オフィス・アワー： 野田研究室（大学会館3階）木曜日 17:00~18:00
	日本語G1 (読解)	後	金3-4	野田 岳人	1			基礎的な専門書や論文などの内容を理解するために、基本的な用語、文法的な表現などを中心に学習します。また、これらの語彙や表現を用いて、口頭表現や発表練習も行います。 オフィス・アワー： 野田研究室（大学会館3階）火曜日 13:00~14:00
	日本語G2 (読解)	後	金5-6	野田 岳人	1			基礎的な専門書や論文などの内容を理解するために、基本的な用語、文法的な表現などを中心に学習します。また、これらの語彙や表現を用いて、口頭表現や発表練習も行います。 オフィス・アワー： 野田研究室（大学会館3階）火曜日 17:00~18:00
	日本語H (作文)	後	火5-6	船橋 瑞貴	1			短い文章から始めて徐々に長い文章を書く練習を行い、その後で、自分でテーマを設定し、複数の資料を引用しながら自分の意見を主張する「最終レポート」を執筆します。レポートについては、テーマ設定、材料集めやアウトラインの作成などを授業中の作業や宿題によって少しずつ進めていきます。また、受講者同士でお互いが書いたものについて検討したり、コメントしたりする「協働学習」の方法を取り入れています。 オフィス・アワー： 船橋研究室（大学会館3階）火曜日 11:30~12:30
	日本語I (口頭表現)	前	火5-6	大和 啓子	1			モデルとなる発表や講演を聴き、メモの取り方、また、発表の構成を作りだす表現について学びます。そのうえで、相手に伝わりやすく、構成を意識した口頭発表の練習を行います。 オフィス・アワー： 大和研究室（大学会館3階）火曜日 14:20~15:20

[日本語・日本事情科目]

科目区分：日本語・日本事情

授業科目	授業題目	学期	曜日・時限	担当教員	単位数	選別	授業クラス	授業目標・内容など
日本事情	Jプログラム 日本入門特別講義	前	火7-8	野田 岳人 (他)	2		留学生	<p>交換留学生(科目等履修生)を対象に、日本に関する講義を行います。講義はオムニバス方式(1教員、1コマ)で、本学の教員が提供します。日本における医学や工学に関する話題、日本文学や日本事情、日本社会に関する問題などを取り上げます。</p> <p>オフィス・アワー： 野田研究室(大学会館3階) 火曜日 16:00~17:00</p>
	日本事情A	前	水5-6	園田 智子	2		留日 合同	<p>この授業は、世界の様々な文化背景を持つ人々と交流し、コミュニケーションをはかっていくための基礎的な知識と力を、異文化間交流実践プログラムを通して学ぶことを目的としている。実際の授業では、異文化コミュニケーショントレーニングで用いられるワークを学んだり、在住外国人や留学生との交流企画を講義に取り入れたりする。また、国際交流や国際協力に携わっている現役のグローバルパーソンをゲストスピーカーとして招き、話を聞き、交流対話を行うなど実践的な活動を多く取り入れる。</p> <p>オフィス・アワー： 園田研究室(大学会館3階) 木曜日 12:40~14:00</p>
	日本事情B	後	水5-6	野田 岳人	2			<p>グローバル化の時代では、普遍的な価値観が国境を越え、国際的に広がる。しかし、同一の価値観がグローバルに広がる一方で、国内的にはナショナリズムに起因した内向きの空気が漂う。現代社会の諸事象は、国内・国際・グローバルという多層にわたって複雑に関連し合って生み出されている。授業では、重要だと思われる時事的な問題を取り上げ、様々な視点から考察する。現代社会における諸事象について、国内的視点、国際的視点、グローバル的視点という三つの視点から考えられるようになる。</p> <p>授業では、トピックに関する新聞や資料の精読、学生同士のディスカッション、教員による説明やコメントなどを組み合わせて進める。</p> <p>オフィス・アワー： 野田研究室(大学会館3階) 水曜日 16:00~17:00</p>
	日本事情C	前	水5-6	松元 宏行	2			<p>講義は毎回テーマごとに映像資料を提示し、レポートの作成の活動を取り入れて進めていく予定である。内容は、科学、文化、芸術(現代史)など多彩な題材を用意している。積極的な姿勢で授業に臨んでいただきたい。評価は総合的に行う予定であるが、授業の性格上、出席が重要である。</p> <p>なお、日本事情Cは日本人学生と留学生の混合授業であるが、授業の理解には日本語の能力が必須である。そのため、受講可能な留学生は学部正規留学生に限る。(交換留学生、研究留学生等は受講不可)</p> <p>オフィス・アワー： 松元研究室(教養教育GC棟111) 火曜日 14:30~15:30</p>

[日本語・日本事情科目]

科目区分：日本語・日本事情

授業科目	授業題目	学期	曜日・時限	担当教員	単位数	選別	授業クラス	授業目標・内容など
入門日本語・ 伝統文化実践	入門日本語(総合Ⅰ)	後	月7-10 金5-8 木5-8 火5-8	瀬間 亮子 牧原 功 落合美佐子 吉田 好美	4		留学生	<p>初中級レベルの日本語学習者を対象として、学期終了後に教養教育や学部開講の日本人対象の授業に参加可能なレベルに到着させることを目的とし、中級文型、語彙、漢字の導入を行いながら一定の長さの文章を読むトレーニングを行う。授業は、月曜日、火曜日、木曜日、金曜日にそれぞれ4時限分実施し、同一教材を用いてリレー式に授業を実施する。</p> <p>オフィス・アワー： 牧原研究室(大学会館3階) 木曜日 13:00~14:00</p>
	入門日本語(総合Ⅱ)	後	月7-10 金5-8 木5-8 火5-8	瀬間 亮子 牧原 功 落合美佐子 吉田 好美	4			
	入門日本語漢字A	後	木9-10	落合美佐子	1			<p>主に交換留学生を対象とする。中上級から上級レベルで必要とされる漢字に加え、大学の講義や演習等で頻繁に使用される語彙、より広範な話題・社会的トピックに関する語彙の理解力向上を目指す。授業では漢字語彙の読み方、意味、用法を中心に練習を行う。</p> <p>オフィス・アワー： 国際センター(大学会館3階) 木曜日 17:30~18:00</p>
	入門日本語漢字B	後	金3-4	瀬間 亮子	1			<p>非漢字圏出身の学習者を対象に、中級レベルで必要とされる漢字・熟語の学習を行う。同レベルの漢字はひととおり勉強したという学習者についても、どこに欠落があるかを意識する機会としたい。</p> <p>文の中の漢字が読めることを最大の目標とするが、記憶の定着を助けるために書くこともある。</p> <p>オフィス・アワー：金曜日 授業の前後</p>
	入門日本語作文	後	水5-6	渡邊 知積	1			<p>大学での生活や学習に必要なメールやレポートなどの作成ができるようになることが目標です。モデルとなる文章を何回も練習しながら、文体や書きことばのルール、文法を確認し、言語素材を学びます。作文の宿題やレポートの作成課題などがあります。日本語能力試験N4からN2レベルの学生が対象です。</p>
	入門日本語会話	後	水7-8	渡邊 知積	1			<p>大学生活での日常的なコミュニケーションと、授業でのプレゼンテーションやディスカッションが適切にできるようになることが目標です。文体、話し言葉の特徴などに注意してモデル音声を何回も聞きながら、運用練習と言語素材の学習を行います。リスニングの宿題やプレゼンテーション課題などがあります。日本語能力試験N4からN2レベルの学生が対象です。</p>
	日本美術演習Ⅰ	後	木1-2	酒井 重良	1			<p>「日本画を描く」という活動を通して、その材料や道具について理解し、表現の方法を習得します。そして、表現の背景にある日本の文化、日本人の美意識とそれに関係した言葉なども合わせて学習していきます。墨や筆、和紙、それに岩絵の具など、日本画独特の材料や道具を使い表現することで、楽しみながら日本文化について学ぶことが出来ます。</p> <p>また、日本画以外の美術、陶芸や染織・書・版画なども合わせて体験します。</p> <p>近隣の美術館なども見学する機会を持ち、歴史や風土からも日本文化について学習します。</p>
	日本美術演習Ⅱ	後	木3-4	酒井 重良	1			

[日本語・日本事情科目]

科目区分：日本語・日本事情

授業科目	授業題目	学期	曜日・時限	担当教員	単位数	選別	授業クラス	授業目標・内容など
入門日本語・ 伝統文化実践	日本美術演習Ⅲ	前	木1-2	酒井 重良	1		留学生	I・IIに引き続き、日本画制作を基本として、様々な分野の日本の伝統的な美術を体験します。日本画では、独特の技法である「箔」や「砂子」「たらし込み」を使った表現を試みるとともに、季節感や文学との関係も視野に入れ、絵を描きます。
	日本美術演習Ⅳ	前	木3-4	酒井 重良	1			絵以外の分野では、竹工藝・組紐・型染めなどを通して、日本文化について学びます。 また、近隣の遺跡・寺院などを見学し、歴史や風土と、それに根ざした日本人の自然観や宗教観などについて考えます。
	邦楽器演習Ⅰ	後	月5-6	中畝 詩歩	1			この授業は日本の伝統楽器である三絃の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。具体的には三絃の構え方、弾き方を習得し、最終的には箏との合奏にも取り組みたい。また三絃に触れることにより、日本文化・礼儀作法を学ぶ事も目標としていきたい。 オフィス・アワー： E棟101教室 月曜日 12:00~12:30
	邦楽器演習Ⅱ	前	月5-6	中畝 詩歩	1			邦楽器演習Ⅰで習得した、演奏法等を更に発展させ、I段階難易度の高い曲、パートに取り組む。最終的には、箏・三絃の複数パートとの合奏で、アンサンブルを楽しむことを目指したい。 オフィス・アワー： E棟101教室 月曜日 12:00~12:30
	邦楽器演習Ⅲ	後	月3-4	中畝 詩歩	1			この授業は日本の伝統楽器である箏の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。具体的には爪のはめ方、箏への構え方、さまざまな演奏方法を習得し、最終的には三絃との合奏にも取り組みたい。また箏を演奏する事により、日本の文化・礼儀作法を学ぶ事も目標としていきたい。 オフィス・アワー： E棟101教室 月曜日 12:00~12:30
	邦楽器演習Ⅳ	前	月3-4	中畝 詩歩	1			邦楽器演習Ⅲで習得した、演奏法等を更に発展させ、I段階難易度の高い曲、パートに取り組む。最終的には、箏・三絃の複数パートとの合奏で、アンサンブルを楽しむことを目標としたい。 オフィス・アワー： E棟101教室 月曜日 12:00~12:30

○ 中級日本語集中コース (入門日本語)

Preliminary Intensive Japanese Course

すぐに日本人と同じ授業に参加するのは難しい学生を対象としたコースです。コース修了後に専門分野で円滑に研究活動が行えることを目標に、日本語を約5ヶ月集中的に勉強します。期間は16週間で、月曜日から金曜日までの毎日、授業があります。

コース開始時にプレースメントテスト、期間中に中間テスト、修了時にアセスメントテストを行います。

このコースは大使館推薦の国費留学生(研究留学生・教員研修留学生・日韓理工学部共同プログラム留学生)と交換留学生を対象にしています。

コース・コーディネーターは牧原功准教授です。

時間割

中級レベルコース (後期開講・荒牧キャンパス)

講時/曜日	月	火	水	木	金
1-2 8:20~10:10					
3-4 10:20~11:50		EB1695 表現文型Ⅲ (牧原) 【教育学部 開講】			LB2684 入門日本語 漢字B (瀬間)
5-6 12:40~14:10		LB2677 入門日本語総合 (吉田)	LB2679 入門日本語作文 (渡邊)	LB2677 入門日本語総合 (落合)	LB2678 入門日本語総合 (牧原)
7-8 14:20~15:50	LB2677 入門日本語総合 (瀬間)	LB2677 入門日本語総合 (吉田)	LB2680 入門日本語会話 (渡邊)	LB2677 入門日本語総合 (落合)	LB2678 入門日本語総合 (牧原)
9-10 16:00~17:30	LB2677 入門日本語総合 (瀬間)			LB2683 入門日本語 漢字A (落合)	

## 授業内容

### 総合

『中級を学ぼう 中級前期』『中級を学ぼう 中級後期』などの教材を利用し、日本語の能力の総合的な向上を目指します。「総合」の授業の内容は連続しています。月・火・木・金のすべての授業に参加してください。なお、このクラスは前半が「入門日本語総合Ⅰ（科目番号LB2677）」、後半が「入門日本語総合Ⅱ（科目番号 LB2678）」となります。どちらも履修登録してください。

### 作文

大学で必要となるレポート作成等のための作文の練習をします。

### 会話

日常生活で、場面や状況に応じた適切な会話をするための練習をします。

### 漢字

上級レベルで必要とされる漢字、熟語を学習します。漢字の正しい読み方も指導するため漢字圏出身の学習者も参加してください。レベルによって漢字Aと漢字Bのクラスに分けます。

### 表現文型Ⅲ（選択）

初級・初中級レベルの文法項目が十分定着していない学生を対象として、初級～初中級の文法項目、文型の復習をします。

なお、この授業は教育学部開講の「日本語（表現文型Ⅲ）」の授業です。「日本語（表現文型Ⅲ）」で履修登録してください。

## ○ Jプログラム (日本語・日本文化研修留学生プログラム)

Jプログラムは、日本語・日本文化研修留学生\*と交換留学生を対象にした1年間のプログラムです。日本語の能力や技能を高めるだけでなく、日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や実社会でも役立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけることを目指します。また、期間中に行われる諸活動に参加することによって、日本語、日本文化、日本社会についての理解を深めることができます。

修了時に、日本語で研究論文を作成し、自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになることがこのプログラムの目標です。

コース・コーディネーターは野田岳人准教授です。

### Jプログラム 時間割 (2017-18年度 後期 時間割)

時限/曜日	月	火	水	木	金
1-2 8:40-10:10					
3-4 10:20-11:50		LB2641 日本語A2 (口頭表現) 吉田 好美	LB2639 日本語G2 (レポート作成) 野田 岳人		LB2638 日本語G1 (読解) 野田 岳人
5-6 12:40-14:10	LB2640 日本語E (読解) 瀬間亮子	LB2637 日本語H (作文) 松橋瑞貴	LB2654 日本事情B 野田 岳人		
7-8 14:20-15:50		LB2274 国際理解基礎 講座 園田智子			
9-10 16:00-17:30					

- \* 日本語・日本文化研修留学生プログラムは、日本語・日本文化に関する分野を専攻する学部レベルの国費外国人留学生（日研究生）を対象とした1年間のプログラムです。
- \* 「日本語」は、教養教育の日本語科目と教育学部開講の日本語科目です。
- \* Jゼミの時間は受講生と相談して決めます。

しゅうりょうようけん  
修了要件

2017-18年後期 教養教育「日本語」受講者

授業科目	後期 (10~3月)	前期 (4~9月)
日本語 (教養)	4科目 (120時間)	
日本語 (教養)、教養・学部科目	6科目 (180時間)	
J 特別講義 (教養)		1科目 (30時間)
Jゼミ (センター)		1科目 (30時間)
課題研究 (学部・センター)	論文・プレゼンテーション	

- 日本語科目は後期と前期で4科目が必要です。
- 課題研究は指導教員による論文指導です。前期の終わりにプレゼンテーションをして、論文を提出しなければなりません。

2017-18年後期 入門日本語コース受講者

授業科目	後期 (10~3月)	前期 (4~9月)
入門日本語	8科目 (240時間)	
J 特別講義 (教養)		1科目 (30時間)
Jゼミ (センター)		1科目 (30時間)
課題研究 (学部・センター)	論文・プレゼンテーション	
日本語 (教養)、学部・教養科目	2科目 (60時間以上)	

- 「入門日本語 (総合Ⅰ)」と「入門日本語 (総合Ⅱ)」を合わせて、8科目を受講しなければなりません。
- 課題研究は指導教員による論文指導です。前期の終わりにプレゼンテーションをして、論文を提出しなければなりません。



## 「J」プログラム・スケジュール

2017年 9月	プレースメントテスト		
クラス	にほんごじょうきゅう 日本語上級 きょうようきょういく →教養教育	にほんごちゅうきゅう 日本語中級 ちゅうきゅう →中級レベルコース	
2017年 後期	きょうようきょういく にほんご 教養教育「日本語」 きょうようきょういく にほんじじょう 教養教育「日本事情」 きょうようきょういく にほんでんとうぶんか 教養教育「日本伝統文化」 きょうようきょういくかもく 教養教育科目 がくぶかもく 学部科目 がくぶ 学部ゼミ	きょうようきょういく にゅうもん にほんご 教養教育「入門日本語」 きょうようきょういく にほんでんとうぶんか 教養教育「日本伝統文化」	しどうきょういん 指導教員と めんだん 面談
2018年 前期	きょうようきょういく にほんご 教養教育「日本語」 きょうようきょういく にほんじじょう 教養教育「日本事情」 きょうようきょういく にほんでんとうぶんか 教養教育「日本伝統文化」 きょうようきょういくかもく 教養教育科目 がくぶかもく 学部科目 がくぶ 学部ゼミ  きょうようきょういく にほんにゅうもん とくべつこうぎ 教養教育「Jプログラム日本入門特別講義」 こくさい 国際センター「Jプログラム・ゼミ」		しどうきょういん 指導教員の こうぎ 講義・ゼミへ しゅつせき 出席  けんきゅうかだい 研究課題の けつてい 決定  けんきゅうかだい 研究課題の さくせい 作成
8月	けんきゅうほうこくかい がつ にち にち 研究報告会（8月7日、8日）		
9月	かだいるんぶん ていしゆつ しめきり がつ にち 課題論文の提出（締切、9月7日）		

- 「外国語教養科目」について、母語の科目を履修することはできません。例えば、中国及び台湾からの留学生は「中国語」を履修することはできません。

きょうようきょういく でんとうぶんかじっせんかもく  
 ○教養教育「伝統文化実践科目」

ねんどこうき がつ がつ じかんわり  
 2017年度後期 (10月～3月) 時間割

こうじ 講時 / ようび 曜日	月	火	水	木	金
1-2 8:40-10:10				LB2681 にほんびじゅつ 日本美術 えんしゅう 演習 I さかいしげよし (酒井重良)	
3-4 10:20-11:50	LB2675 ほうがっき 邦楽器 えんしゅう 演習 III なかうねしほ (中畝詩歩)			LB2682 にほんびじゅつ 日本美術 えんしゅう 演習 II さかいしげよし (酒井重良)	
5-6 12:40-14:10	LB2676 ほうがっき 邦楽器 えんしゅう 演習 I なかうねしほ (中畝詩歩)				

- にほんびじゅつえんしゅう りょうほうじゅこう  
 \* 日本美術演習はIとIIを両方受講しなければなりません。  
 \* 「邦楽器演習 I・II」「日本美術 I・II」のどれか一つを受講してください。

## 日本美術コース（週2回）：日本美術演習 I・II

講師：酒井重良

### 概要

「日本画を描く」という活動を通して、その材料や道具について理解し、表現の方法を習得します。また、表現の背景にある日本の文化、日本人の美意識とそれに関係した言葉なども合わせて学習していきます。絵以外の分野では、書・組紐・型染めなどを通して、日本文化について学びます。また、近隣の遺跡・博物館などを見学し、歴史や風土と、それに根ざした日本人の自然観や宗教観などについても考えます。

### 留学生・初心者へのメッセージ

日本画独特の材料や道具（墨や筆、和紙、それに岩絵の具など）を使って表現したり、書を書いたり、染め物をしたりして、楽しみながら日本文化について学ぶことができます。

### 授業の展開

第1回 日本文化の特質・「型」の表現・修練について考える。

いろいろな筆や墨、和紙などを使って、表現の違いを楽しむ。

第2回 日本画「春の花を描く」①スケッチをする。

第3回 日本画「春の花を描く」②下図を作る。本紙に写す。墨入れ。

第4回 日本画「春の花を描く」③彩色。

第5回 墨・筆・和紙などで、書や水墨画などを自由に表現する。①

第6回 墨・筆・和紙などで、書や水墨画などを自由に表現する。②

第7回 墨・筆・和紙などで、書や水墨画などを自由に表現する。③

第8回 「組紐」簡単な方法で、紐を編む。①

第9回 「組紐」簡単な方法で、紐を編む。②

第10回 「切り絵」花や身近な風景をモチーフに切り絵を作る。

第11回 「型染め」の技法で、手ぬぐいを染める。

第12回 近隣の美術館・博物館を訪ねる。

第13回 日本画「身近なものをモチーフとして（人物・風景）」①

第14回 日本画「身近なものをモチーフとして（人物・風景）」②

第15回 日本画「身近なものをモチーフとして（人物・風景）」③

第16回 日本画「身近なものをモチーフとして（人物・風景）」④

※制作の進み具合によって、予定が変わることもあります。

ほうがく <sup>しゅう</sup> <sup>かい</sup> <sup>ほうがつきえんしゅう</sup>  
邦楽コース (週 2 回) : 邦楽器演習 I・III

こうし <sup>なかうた</sup> <sup>し</sup> <sup>ふ</sup>  
講師 : 中歌詩歩

ほうがつきえんしゅう <sup>じゆぎょうないよう</sup> <sup>さんげん</sup>  
邦楽器演習 I 授業内容 (三絃)

この授業は日本の伝統楽器である三絃の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。

具体的には三絃の構え方、弾き方を習得し、最終的には箏との合奏にも取り組みたい。また三絃に触れることにより、日本文化・礼儀作法を学ぶ事も目標としていきたい。

☆ <sup>じゆぎょうしんこうけいかく</sup>  
授業進行計画

1 回目から 3 回目 <sup>かいめ</sup> <sup>さんげん</sup> <sup>かま</sup> <sup>かた</sup> <sup>はち</sup> <sup>も</sup> <sup>かた</sup> <sup>かくいと</sup> <sup>ひ</sup> <sup>かた</sup>  
ガイダンス・三絃の構え方、パチの持ち方、各糸の弾き方。

4 回目から 5 回目 <sup>ひだりて</sup> <sup>お</sup> <sup>かた</sup> <sup>れんしゅう</sup>  
左手 (ツボ) の押さえ方。「さくら」の練習。

6 回目から 9 回目 <sup>がっそう</sup> <sup>こと</sup> <sup>がっそう</sup>  
「さくら」の合奏 (箏との合奏)

10 回目から 15 回目 <sup>えんそうかい</sup> <sup>きよくもく</sup> <sup>れんしゅう</sup>  
演奏会の曲目の練習

16 回目 <sup>えんそうかい</sup>  
演奏会

\* <sup>ぜんかいりしゅう</sup> <sup>ほう</sup> <sup>なんいど</sup> <sup>たか</sup> <sup>きよく</sup> <sup>れんしゅう</sup>  
前回履修した方は、難易度の高い曲も練習できます。

☆ <sup>りゅうがくせい</sup>  
留学生へのメッセージ

たの <sup>がつき</sup> <sup>ふ</sup> <sup>なか</sup> <sup>ぎじゆつ</sup> <sup>しゅうとく</sup> <sup>えんそうかい</sup> <sup>ふくすう</sup> <sup>ば</sup> <sup>ー</sup> <sup>と</sup> <sup>わ</sup> <sup>きよく</sup>  
楽しく楽器に触れていく中で、技術を習得し、演奏会では複数のパートに分かれ、曲  
を仕上げる事に挑戦します。達成感のある、貴重な経験になることと思います。

ほうがつきえんしゅう Ⅲ じゆぎょうないよう こと  
邦楽器演習 Ⅲ 授業内容 (箏)

この授業は日本の伝統楽器である箏の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしなが  
ら、演奏することを目標とする。具体的には爪のはめ方、箏への構え方、さまざまな  
演奏方法を習得し、最終的には三絃との合奏にも取り組みたい。  
また箏を演奏する事により、日本の文化・礼儀作法を学ぶ事も目標としていきたい。

☆ じゆぎょうしんこうけいかく  
授業進行計画

1回目から3回目 ガイダンス・爪のはめ方、箏への構え

「さくら」「数え歌」の練習

4回目から5回目 「さくら」の合奏

6回目から7回目 「数え歌」の合奏

8回目から12回目 「荒城の月」の練習、合奏

13回目から15回目 演奏会の曲目の練習

16回目 演奏会

\* 前回履修した方は、難易度の高い曲も練習できます。

☆ りゅうがくせい  
留学生へのメッセージ

たの 楽しく楽器に触れていく中で、技術を習得し、演奏会では複数のパートに分かれ、  
きよく 曲を仕上げる事に挑戦します。達成感のある、貴重な経験になることと思います。

○留学生のための補講科目としての日本語コース

SUPPLEMENTARY JAPANESE COURSE FOR INTERNATIONAL STUDENTS

群馬大学国際センターでは桐生キャンパスと昭和キャンパスの留学生のために日本語補講コース

を開講します。

Gunma University International Center (GUIC) offers supplementary Japanese courses to international students who study in Kiryu and Showa campus.

授業は4月と10月に始まります。

The courses start from April and October.

1. 桐生キャンパス KIRYU CAMPUS

※日本語クラスを受講する人は必ず、オリエンテーションとプレースメントテストに参加してください。

All students who wish to take Japanese Language Courses in Kiryu must attend the orientation and placement test.

2017年度後期 (2017 Second Semester)

時間割 ※変更予定あり (Timetable \*tentative)

	月 (Mon)	火 (Tue)	水 (Wed)	木 (Thu)	金 (Fri)
3-4 10:20~11:50	かんじ 漢字 おちあい 落合	ちゅうきゅうそうごう 中級総合I たかはし 高橋	にほんご ビジネス日本語B ふなはし 松橋	ちゅうきゅうかいわ 中級会話 わたなべ 渡邊	しょきゅう 初級III-IV For Beginner ふなはし 松橋
5-6 12:40~14:10	しょきゅう 初級I-II おちあい 落合	しょきゅう 初級III-IV For Beginner たかはし 高橋	ちゅうきゅうそうごう 中級総合II まきはら 牧原	しょきゅう 初級I-II わたなべ 渡邊	しょきゅう 初級III-IV For Beginner ふなはし 松橋
7-8 14:20~15:50	しょきゅう 初級I-II おちあい 落合	しょきゅう 初級III-IV For Beginner たかはし 高橋		しょきゅう 初級I-II わたなべ 渡邊	
9-10 16:00~17:30					

初級 (Elementary) I-II : はじめて日本語を勉強する人や、それに近いレベルの人のためのコースです。1週間に4コマあります。原則として4コマ全部参加しなければなりません。

The course is designed for beginners (including "almost" beginners). The courses include four lessons per week. Basically, you have to attend all the lessons.

初級 (Elementary) III-IV : 初級の内容を半分くらい勉強したことのある人のためのクラスです。1週間に4コマあります。原則として4コマ全部参加しなければなりません。

The course is designed for students who have already learned about half of elementary Japanese. The courses include four lessons per week. Basically, you have to attend all the lessons.

漢字 : 漢字を使わない国の人のためのクラスです。よく使う漢字を勉強します。

中級総合I, 中級総合II・中級会話・中級作文 : 初級を勉強した人のためのクラスです。

自分の受講したいクラスを1つだけ選んで参加することもできます。

ビジネス日本語 : 企業で働くときに必要になるビジネス日本語やことばを使うときに必要になるマナーを勉強します。

連絡・問い合わせ先 (Further Information)

国際センター桐生分室 (7号館513) Tel: 船橋瑞貴講師

GUIC Kiryu campus branch (No.7 building, room513) Associate professor Funahashi  
Tel:0277-30-1097 E-mail: funahashi@gunma-u.ac.jp



2. <sup>しょうわ</sup>昭和キャンパス SHOWA CAMPUS

2017<sup>ねんご</sup>年度 <sup>こうき</sup>後期 (2017 Autumn Semester)

	月 (Mon)	火 (Tue)	水 (Wed)	木 (Thu)	金 (Fri)
3-4 10:40-12:10					
5-6 13:00-14:30	Elementary I Mr.Takahashi			Elementary I Mr.Takahashi	
7-8 14:40-16:10	Elementary III Mr.Takahashi	Elementar II Mr.Makihara	Elementary I Ms.Sonoda	Elementary II Mr.Takahashi	Elementary I Ms.Sema
9-10 16:20-17:50					ElementaryIII Ms.Sema

-Course Outline

**[Elementary I / Basic Scientific Language]**

This course is designed for students who have no knowledge of Japanese. It will be started from the phonetic syllabary and Lesson 1 of the text book. Please attend the four classes a week.

Textbook: Minna no Nihongo I (Three A Net Work)

Contents: 1. Introduction of written characters (Kana, the phonetic syllabary). 2. Lesson 1 - (Minna no Nihongo I 2<sup>nd</sup> Edition)

**[Elementary II]**

This course aims to enable students to master grammatical patterns and expressions found at the upper beginning level. The course starts from Lesson13, Minna no Nihongo I. 2nd Edition Please attend the two classes a week.

**[Elementary III]**

This course aims to enable students to master grammatical patterns and expressions found at the upper beginning level. The course starts from Lesson23, Minna no Nihongo I. 2<sup>nd</sup> Edition Please attend the two classes a week.

-Location: "International Student Room", located on the 7th floor in the Common Building of the

いがくぶきょうようしせつどう ななかい こくさいこうりゅうしつ  
School of Medicine . 医学部 共用施設棟 7階 国際交流室

-Course coordinator

SONODA Tomoko

E-mail:sonoda@gunma-u.ac.jp Tel: (027) 220-7503

Office: International Center (Aramaki campus)

memo

Lined area for writing the memo content.



## **What is the Tutorial System?**

International students often run into difficulties studying or conducting their research after they start their student life in Japan. Gunma University provides a Tutorial System for those students. A tutor and an international student pairs up to conduct periodical activities. Tutors support their partner students in their studies and/or research. These tutors are paid for their activities. International students are encouraged to take advantage of this system not only to assist them in their studies but to broaden communication opportunities with many other students.

---

### **Tutorial activities**

The following is a list of basic activities of most pairs of students, although details of tutorial activities are to be decided by each international student and his/her tutor.

Tutorial activities begin in April for First Semester, and in October for Second Semester.

**Japanese correction and guidance**

**Homework assistance and report writing**

**Study support in specialized fields**

**Application for Tutors**

1. Procedures for international students who would like to have a tutor

[If you want a tutor]

Please contact the

<Aramaki Campus> International Office

<Showa Campus> Student Support Office

<Kiryu Campus> Student Support Section

### **How to apply for the tutorial system**

You can have your academic advisor choose an appropriate Japanese student whose field of specialization is similar to yours and write a "Recommendation for a Tutor" and submit it to the administrative office. This method is especially recommended for graduate school students because their research is so deeply specialized that those Japanese students who conduct similar research are considered to be the most appropriate matches. Please tell your academic advisor that you would like a tutor, have him/her choose an appropriate Japanese student and write a Recommendation for a Tutor for you. This is one reason why most of the tutors are students recommended in the Faculty of Science and Technology (in Kiryu) and the Faculty of Medicine (in Showa).

※Tutor-orientation

An orientation will be held in April and October before tutorial activity begins. Both international students and tutors are required to attend. At the orientation, there are announcements about who pairs off with whom and the procedures to be conducted as well as case studies of tutorial activities and training in intercultural communication.

※Personal to contact regarding tutorial activities

Please feel free to consult with those whose names are listed below with regard to any troubles or problems regarding tutorial activities.

[Aramaki Campus] International Office Miyoshi (Ms.) 027-220-7628

[Showa Campus] Student Support Section Aoki (Ms.) 027-220-7796

[Kiryu Campus] Student Support Section Makino (Ms.) 0277-30-1062

You can also ask to one of GUIC faculties.


---

### Comments from students regarding tutorial activities

What does a tutor mean to international students? Below are comments from past tutors and international students who received support from their tutors.

**International Students:**

**Tutors:**



My tutor helped me a lot when I really needed support such as when I took the Japanese Language Proficiency Test and regular tests at the university.

It was good for me to learn about the ways of thinking of a foreigner my age, her favorite fashions and culture.

My tutor was such a cheerful person that I felt free to ask her various kinds of things, and I really appreciated her help and advice. Thank you.

The best thing for me was that I made a Korean friend.

My tutor helped me a great deal, especially with regard to reading Kanji, writing my reports and documents. I am appreciative.

Tutoring improved my Japanese ability. I was not very interested in foreign countries before, but now I'd like to visit some.

I appreciated my tutor's daily support. I enjoyed exchanging our diaries, too. I hope we will keep in touch even after we move on to different campuses.

I found that what I had assumed to be common things were not necessarily so for foreign people. These discoveries were fun.

## チューター

### チューター(活動)とは

日本で留学をはじめたばかりの留学生の皆さんにとって、日本の大学での勉強や研究には戸惑うことも少なくありません。そのため、群馬大学では、チューター制度を設けています。

チューターの学生と留学生がペアになって、ペアごとに定期的な活動を行ないます。チューターの一の支援範囲は基本的に、勉強や研究の支援で、チューターの学生には規定の謝金が支払われます。留学生の皆さんは、勉強のためだけではなく、大学内での人間関係を広げるためにも、ぜひ積極的にこの制度の申請を行なってください。

### チューター活動の内容

チューター活動は留学生とチューターの各ペアでの話し合いによって進められますが、基本的には以下のような活動が考えられます。なお、チューター活動は前期4月、後期10月から開始します。

日本語の添削・指導：レポートや宿題の日本語チェックなどです。

宿題やレポートの作成の支援・補助：言葉だけでなく、レポートの書き方や、文書の作成、発表の準備や図書館利用の方法など、具体的な学習スキルの支援についても含まれます。

専門分野の学習支援：特に大学院生になると、専門分野の知識の理解が重要になってきます。

とくに同じ専門分野のチューターには、ゼミで十分にわからなかったこと、ゼミ内のルール、発表原稿や、執筆した文章の添削など様々な支援が考えられます。

### チューターの申し込み方法

チューターがほしいと思ったときには、荒牧地区は国際課、昭和地区は学務課、理工学部は学生支援係の窓口にご相談ください。

特に大学院生など指導教員のいる留学生は、指導教員から専門分野が近く適当だと思われる日本人学生を選んでもらって申込書に記載してもらい、事務に提出する方法があります。

大学院生の研究内容は専門的になっていきますので、チューターはできれば同じ分野の研究をしている日本人学生がいいでしょう。指導教員の先生にチューターを希望することを伝え、

にほんじんがくせい さが すいせんしょ か りこうがくぶ きりゅう いがくぶ しょうわ  
日本人学生を探してもらい、推薦書を書いてもらってください。理工学部(桐生)と医学部(昭和)  
では、こういった理由で、推薦書によるチューター配置が中心になっています。

### ※チューターオリエンテーション

チューター活動が開始される前(4月・10月)にオリエンテーションを行います。留学生も  
チューターも全員参加してください。オリエンテーションの内容は、留学生とチューターの組み  
合わせの発表や事務手続きだけでなく、チューター活動における事例検討や、異文化コミュニ  
ケーショントレーニングなども含まれています。

### ※問い合わせ先

チューター活動で困ったなと思ったときにはいつでもご相談ください。

【荒牧キャンパス】国際課 三好 027-220-7628

【昭和キャンパス】学務課学事・学生支援係 青木 027-220-7796

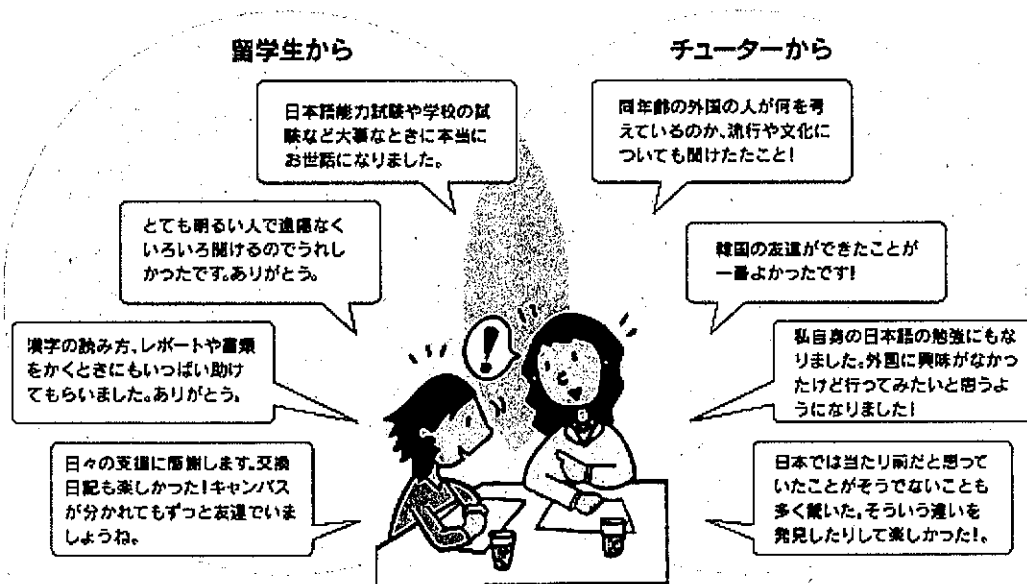
【桐生キャンパス】学生支援係(国際センター桐生分室) 牧野 0277-30-1062

また、国際センターの先生にも相談してください。

## チューター活動体験者の声

留学生の人にとって、チューターはどんな存在なのでしょう？

今までのチューター活動経験者の声を集めました。



## Advisory service for international students

Do not keep your troubles to yourself! Talk about them!

Discuss your pent-up feelings with someone who cares in the counseling room!



---

### Counseling room for international students

There are six professors in the Gunma University International Center (GUIC) who counsels international students who have troubles and worries caused by living and studying in a foreign country as well as Japanese students who socialize with international students. Various kinds of consultations are available. Staff members are prepared to discuss student concerns about "studying", including inquiries about techniques on how to study Japanese or how to conduct everyday studying, as well as "health care consultations" such as poor physical health, insomnia, pregnancy or surgery worries, "employment consultations" dealing with making decisions about whether to get a job or to continue doing research, to return to his/her homeland or to stay in Japan, or advice on job-hunting, "mental health consultations" such as social indifference due to homesickness, etc. Feel free to ask the counseling service whenever you feel that you have no one to ask for help, or when you just want to talk with someone.

---

### How to use the advisory service

※Consultations are held on the two campuses respectively. The six professors spare the time for the advising. Detail info. such as the advising time & day will be notified by poster or Bulletin board.

<Aramaki Campus>

Prof. SONODA Tomoko "International student adviser": [sonoda@gunma-u.ac.jp](mailto:sonoda@gunma-u.ac.jp)

Prof. BERGERON Sylvain : [bergeron@gunma-u.ac.jp](mailto:bergeron@gunma-u.ac.jp)

Prof. MAKIHARA Tsutomu : [makihara@gunma-u.ac.jp](mailto:makihara@gunma-u.ac.jp)

Prof. NODA Takehito : [nodat@gunma-u.ac.jp](mailto:nodat@gunma-u.ac.jp)

<Kiryu Campus>

Prof. FUNAHASHI Mizuki : [funahashi@gunma-u.ac.jp](mailto:funahashi@gunma-u.ac.jp)

Prof. YAMATO Akiko : (Temporally on maternity leave)

Prof. WATANABE Tomoseki : [t.watanabe@gunma-u.ac.jp](mailto:t.watanabe@gunma-u.ac.jp)

Prof. TANAKA Utakō "International student adviser"

on every Thursday at 12:00-15:00 : [kiryu\\_soodan@yahoo.co.jp](mailto:kiryu_soodan@yahoo.co.jp)

[Privacy protection policy]

Each consultation shall be kept strictly confidential unless the student gives consent. You do not have to worry about confidentiality. You can visit any counseling room on any campus. Be sure to inform your counselor that you are from another campus.

[Consultations via E-mail]

If you cannot come to the counseling room during the designated hours, you can consult via E-mail. Consulting staff members will try to respond to you as soon as possible.

[Consultations held in places other than counseling room for international students]

Counseling staff members can listen to your concerns, discuss and help seek resolutions while working in liaison with the General Health Support Center and the Gunma University Hospital for physical health conditions and with the Students Counseling Room with regard to mental conditions.

Consultation on campus

General Health Support Center :

North side of the Administration Bureau office bld. Tel. 027-220-7160(Psychiatry)

Counseling room (in Aramaki) : General Education GB Building, Tel. 027-220-7140

Counseling room, branch room (in Kiryu) : 7<sup>th</sup> building 2F, Tel. 0277-30-1044

Career support office (consultation about employment) : Tel. 027-220-7647

Consultation out of campus

- Maebashi International Association (Consult in English, Spanish, Portuguese, and China)
- Kiryu International Association (Consult in English and Spanish)

TEL 0120-004160 is a free call for Harassment Hot Line. Out-campus Specialist treats the sexual harassment, Academic harassment, Power harassment.



## 留学生相談



## 留学生相談

国際センターでは、6人の先生が留学生相談を受け付けています。自国を離れて異国で生活し勉強する留学生特有の悩みや相談に応じているほか、留学生と関わる日本人学生の相談も受け付けています。日本語や毎日の勉強の方法などに関する「修学相談」、体調の不良や不眠、妊娠や手術への不安などの「健康相談」、就職か研究か、帰国か日本滞在か、実際の就職活動への支援などの「就職相談」、その他、ホームシックのような「心理的な相談」など、様々な相談が寄せられています。ちょっと手伝ってほしいけど誰に頼んでいいのかわからない、「誰かに話したいでも誰に相談していいかわからない」、ということがあればぜひ気軽に留学生相談を利用してください。

## 相談の利用方法

3つのキャンパスで国際センターの6人の先生が相談時間を設けています。曜日や時間は、別途ポスターやメーリングリストでお知らせします。

### <荒牧キャンパス>

園田智子先生 (留学生アドバイザー) [sonoda@gunma-u.ac.jp](mailto:sonoda@gunma-u.ac.jp)

Sylvain BERGERON先生 [bergeron@gunma-u.ac.jp](mailto:bergeron@gunma-u.ac.jp)

牧原 功先生 [makihara@gunma-u.ac.jp](mailto:makihara@gunma-u.ac.jp)

野田岳人先生 [nodat@gunma-u.ac.jp](mailto:nodat@gunma-u.ac.jp)

＜桐生キャンパス＞

船橋瑞貴先生 funahashi@gunma-u.ac.jp

大和啓子先生 (育児休暇中)

渡邊知釈先生 t.watanabe@gunma-u.ac.jp

田中詩子先生 (留学生アドバイザー) 毎週木曜日12:00～15:00

[kiryu\\_soodan@yahoo.co.jp](mailto:kiryu_soodan@yahoo.co.jp)

【プライバシーの保護について】

相談室で行われた個別の相談内容については、相談者の許可がないかぎり、他の先生、事務員、学生などに話すことはありません。安心して相談に来てください。

【メールでの相談】

相談時間に時間があわない。相談室までいく時間がないという方は、ぜひメールでご相談ください。できるだけ早急に対応させていただきます。3日以上たっても返信がない場合は、再度メールでご確認ください。

【留学生相談室以外の相談】

相談室では、健康面については大学の健康支援総合センターや大学附属病院、精神的な面については学生相談室などと連携をはかりながら、皆さんのお話を十分に聞き、ともに考え、問題を解決するお手伝いをします。

●学内での相談

健康支援総合センター：事務局棟北側 電話027-220-7160(精神科医・臨床心理士)

学生相談室(荒牧)：教養教育棟GB棟 電話027-220-7140(本学教員相談員)

学生相談室分室(桐生)：カウンセリング室、電話0277-30-1044

キャリアサポート室(就職相談)：電話 027-220-7647

●学外での相談

前橋市国際交流協会(英語・スペイン語・ポルトガル語・中国語での相談ができます。)

桐生市国際交流協会(英語・スペイン語での相談ができます。)

ハラズメント・ホットライン(セクハラ・アカハラ・パワハラなどの相談を学外の専門カウンセラーに相談できます。) 電話：0120-004160

2017年度後期荒牧地区 国際センター教室配当表

時限/曜日	教室名	月	火	水	木	金
I (1-2) 8:40~ 10:10	講義室 I					
	講義室 II				[教]日本美術 I 酒井	
	ゼミ1					
	ゼミ4					
	その他					
II (3-4) 10:20~ 11:50	講義室 I		[教]日本語A2 吉田	[教]日本語G2 野田		[教]日本語G1 野田
	講義室 II		[教育]表現文型Ⅲ 牧原		[教]日本美術 II 酒井	[教]入門日本語 漢字B 瀬間
	ゼミ1					
	ゼミ4					
	その他	教育学部E101 [教]邦楽Ⅲ中畝			GC310 [教]「わかりやすい 伝え方」を学ぶ 渡邊 GA202 [教]異文化コミュ ニケーション入門 園田	
III (5-6) 12:40~ 14:10	講義室 I		[教]日本語H 松橋			
	講義室 II	[教]日本語E 瀬間	[教]入門日本語 吉田	[教]入門日本語 作文 渡邊	[教]入門日本語 落合	[教]入門日本語 総合 牧原
	ゼミ1			[教]日本語E —瀬間		
	ゼミ4					
	その他	教育学部E101 [教]邦楽Ⅰ中畝			GB101 [教]日本事情B 野田	
IV (7-8) 14:20~ 15:50	講義室 I		[教]国際理解基礎 講座 園田			
	講義室 II	[教]入門日本語 総合 瀬間	[教]入門日本語 吉田	[教]入門日本語 会話 渡邊	[教]入門日本語 落合	[教]入門日本語 総合 牧原
	ゼミ1					
	ゼミ4					
	その他		[教]国際理解基礎 講座 園田			
V (9-10) 16:00~ 17:30	講義室 I					
	講義室 II	[教]入門日本語 総合 瀬間			[教]入門日本語 漢字A 落合	
	ゼミ1					
	ゼミ4					
	その他					

[教]: 教養教育  
[教育]: 教育学部開講科目

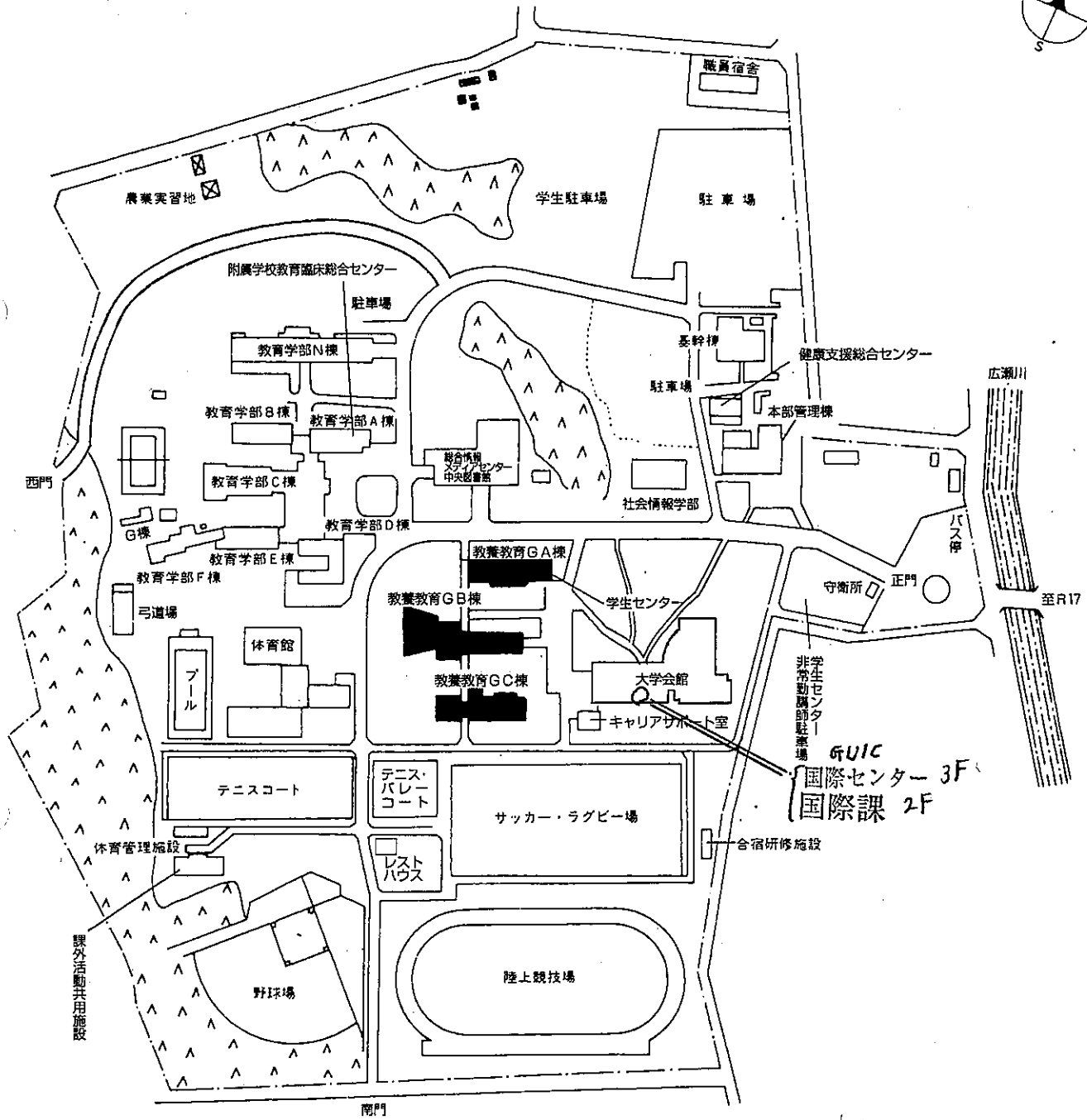
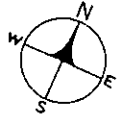
memo

Lined area for writing the memo content.



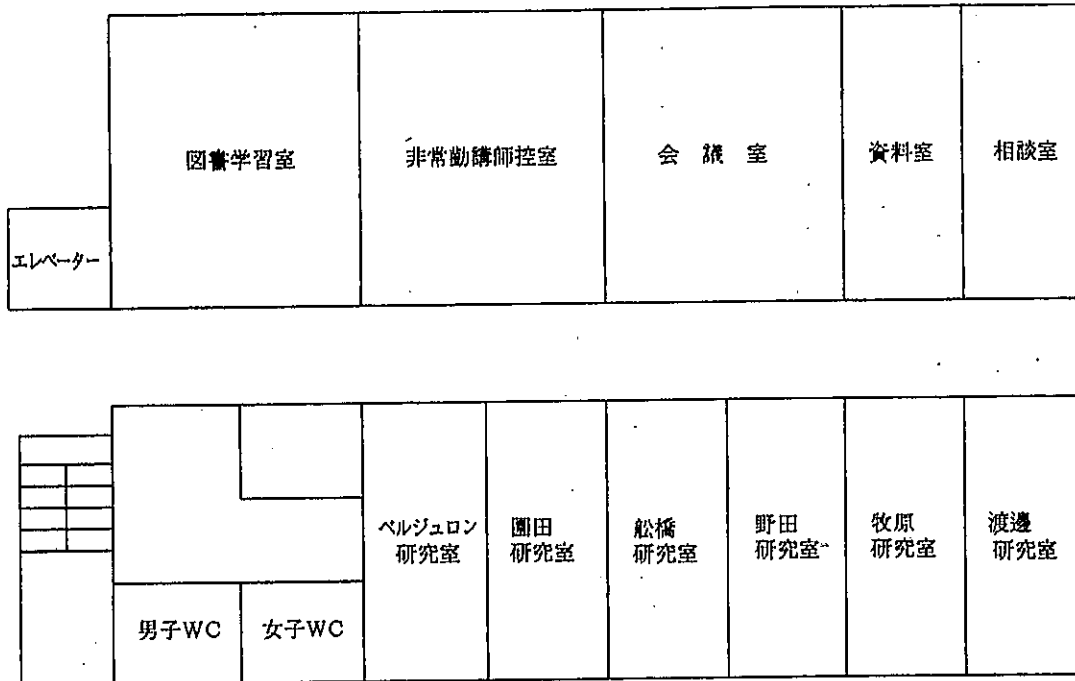
# 荒牧地区建物配置図

Aramaki campus

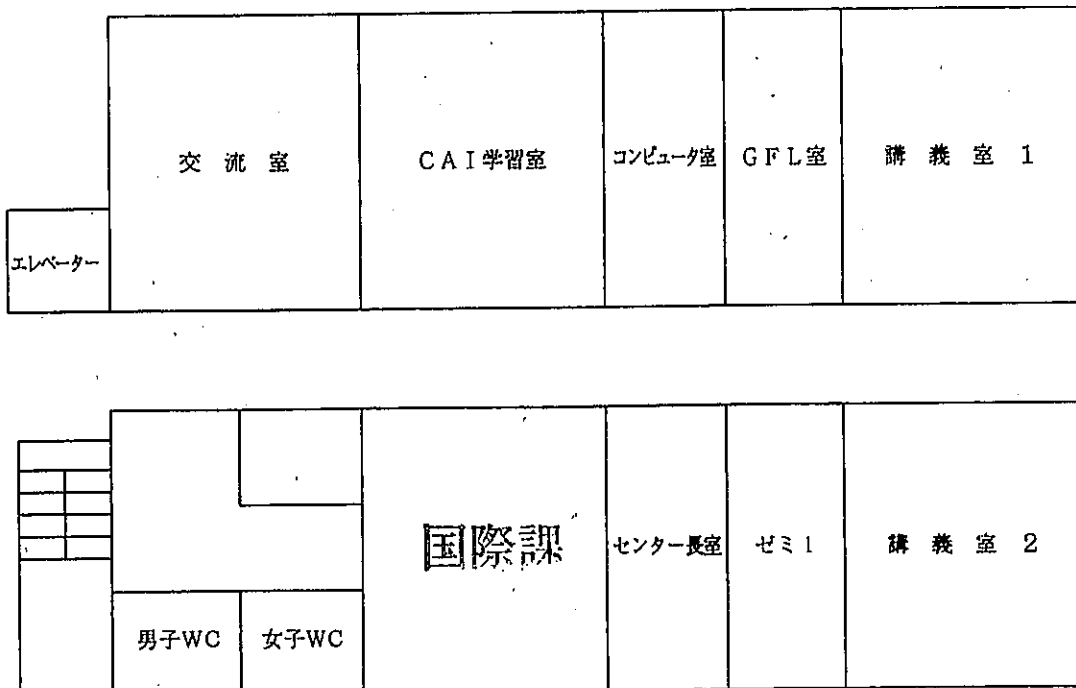


# 大学会館 国際センター・国際課

3階



2階



昭和地区建物配置図

Shohe Campus

Student Support Section

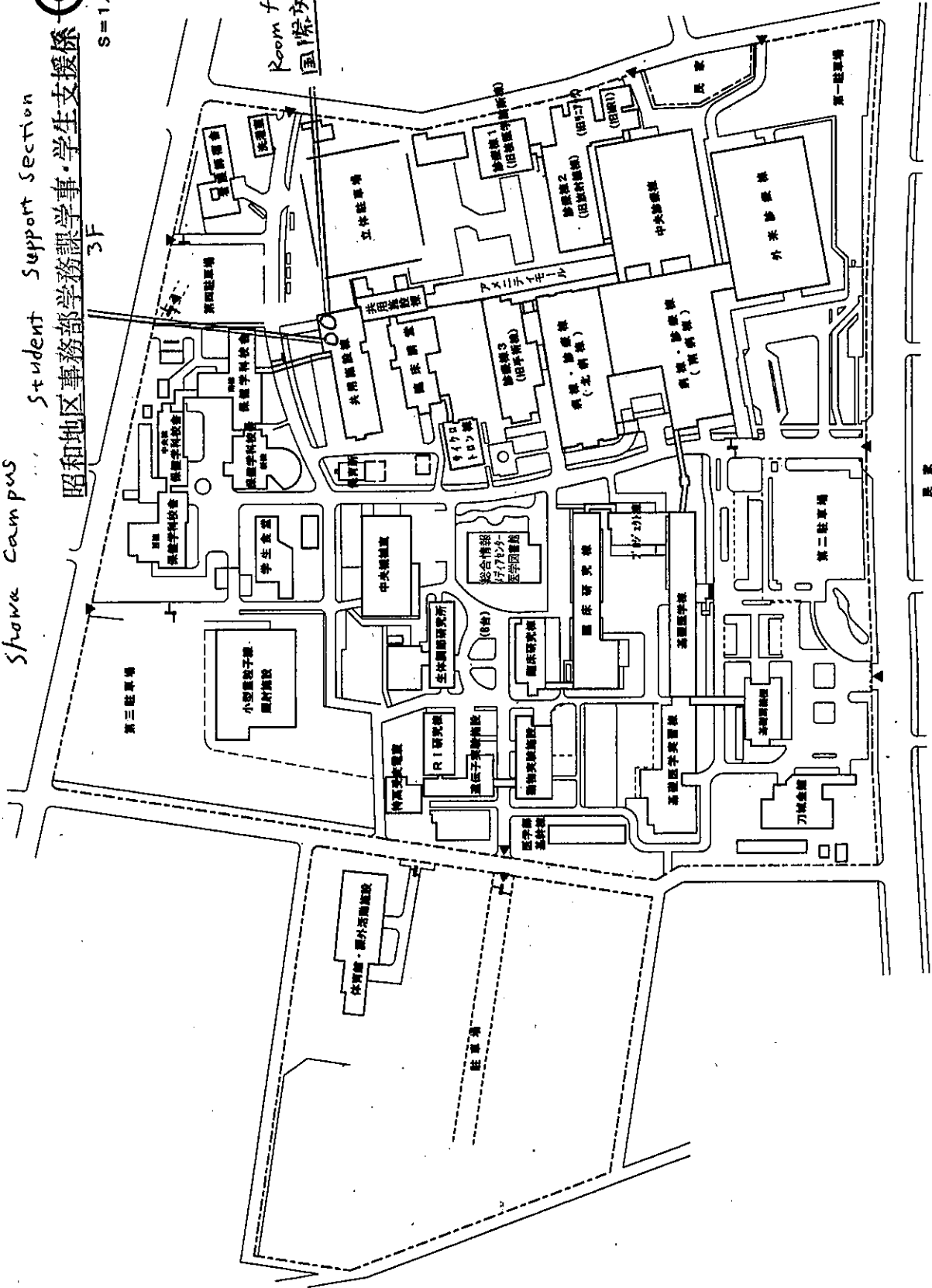
昭和地区事務部学務課学事・学生支援係

3F

S=1/2500

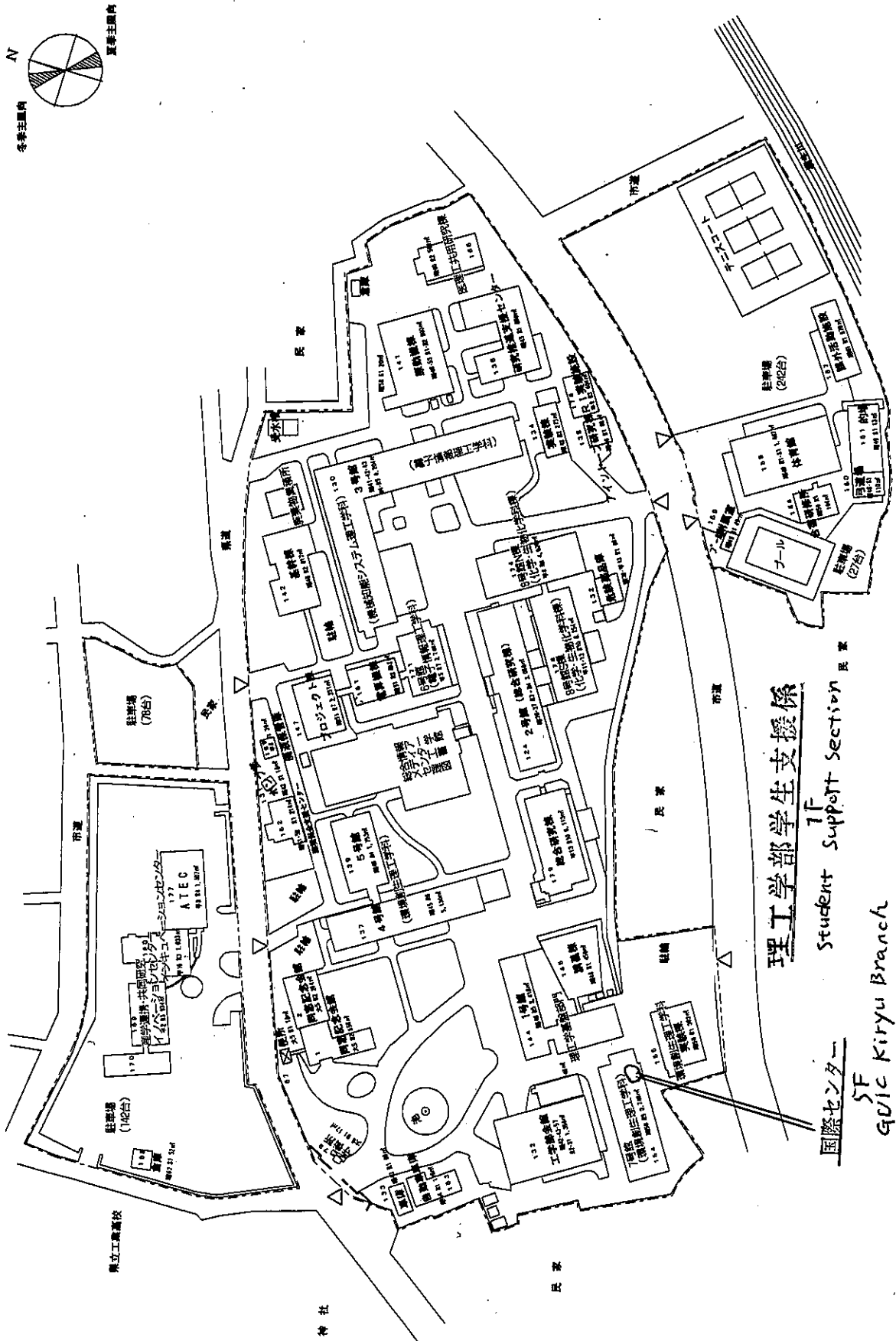


Room for Int'l Exchange  
国際交流室



Kiryu Camps  
桐生地区建物配置図

S=1:2,000





栢生地区 7号館5階 (国際センター、環境創生理工学科 (社会基盤・防災コース))

国際センター インターナショナルラウンジ (国際交流室) (508)	国際センター 会議室 (507)	国際センター 教員室 渡邊 講師 (506)	国際センター 共通資料室 (非常勤講師室) (505)	理工学系技術部 JABEE資料室 (504)	技術部室 (503)	実験室 (502)	蔡 助教 (501)	ヒューター
国際センター 講義室 B (517)	国際センター 留学生 相談室 (516)	国際センター 講義室 A (515)	国際センター 教員室 大和 講師 (514)	国際センター 教員室 船橋 講師 (513)	教職員組合 (512)	教員室 (511)	学生研究室 (510)	若井 教授 (509)

( ) 内は部屋番号